
火山灰土壤畑における微量元素の効果 (第1報)

大山金四郎・小原秀雄・草水 崇・吉田徳重

鹿兒島縣農業試験場鹿屋分場

南九州火山灰土壤畑において小麦に対するマンガン、苦土の施用効果を知ると共に之等微量元素と磷酸の多少との関係を検討した。その成績の大要は次の通りである。

(1) 磷酸少量区に Mn を施用すれば明らかに収量を減ずるが、之に Mg を多量併用するとその減収度合を弱める傾向があつた。(2) 磷酸多量区に Mn を施用しても収量には差は見られないが、之に Mg を多量併

用すれば明らかに収量を増した。(3) 磷酸の多少にかかわらず Mg 単用の効果は認められなかつた。(4) 磷酸の施用量に関係なく Mg, Mn を施用すれば跡地土壤中の置換性 Mg 及び Mn を増加するが、Mg 施用により置換性 Mn の減少が認められた。(5) 収穫物中の N 及び P_2O_5 は Mn 及び Mg の施用により差は見られなかつたが、Mn の含有率は Mn の施用に依り磷酸の多少に関係なく増加した。
